

インテグリティ向上など各大学 の体制整備支援



UNIVAS

(1) 2016年に文部科学大臣設置「大学スポーツの振興に向けた検討会議」にて、大学スポーツ振興の重要性と課題が提起された。

大学スポーツの重要性

➤大学スポーツ振興の意義

- ・大学スポーツの振興には、国民の健康増進や地域・経済の活性化等に資する可能性を有するなど、公共的役割を担う可能性
- ・大学には、アスリートや指導者等の貴重な人材、体育・スポーツ施設が存在

➤大学スポーツ資源の潜在力を発揮するための方向性

- ・スポーツの社会的効用を理解することは社会発展の促進に資することから、大学においてスポーツ分野を学ぶことが重要
- ・大学や学生競技連盟を核とした大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）の創設に向けた議論が必要

振興に向けた個別テーマ

①大学トップ層の理解の醸成

②スポーツマネジメント人材育成・部局の設置

③大学スポーツ振興の資金調達力の向上

④スポーツ教育・研究の充実や小中高等学校等への学生派遣

⑤学生アスリートのデュアルキャリア支援

⑥スポーツボランティアの育成

⑦大学スポーツ資源を活用した地域貢献・経済活性化

統括組織の在り方

【期待される役割】

①学生アスリートの育成
(学業成績要件の統一、デュアルキャリア支援等)

②学生スポーツ環境の充実
(スポーツ活動への支援、保険制度の充実、等)

③地域・社会・企業との連携
(地域貢献活動の総括、ガイドライン整備等)

【組織体制】

①民間の法人として設立し、民間資金による運営を基本とする。

②原則大学、学連の自主参加(任意)とする。

③大学、学連が加盟のメリットを実感できるものとする。

④大学、学連等の従来の活動を阻害せず、調和のとれたものとする。

⑤安定した収入源を得るため、様々な手法の開拓を図る。

⑥当初は実行可能な分野、規模からスタートする。

(2) 2017年「日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会」 (3) 2018年「UNIVAS設立準備委員会」

➤新組織が取り組むべき課題を3テーマに集約化し、解決に向けた方向案をワーキンググループで策定。

学業充実WG

安全安心WG

マネジメントWG

➤さらに、重点3テーマを14の作業部会に細分化して取り組む方策を立案。

入学前からの動機づけ	事故情報の集約	大会レギュレーション整備	広報戦略
学習機会の確保	共通ルールの設定	データの管理活用	スポンサープログラム
成績管理・対策	能力ハラスメント相談窓口	シェアードサービス提供	組織整備
キャリア支援	指導者研修	業務ガイドライン設定	

2. UNIVASの組織概要

UNIVAS 設立理念

・大学スポーツの振興により、「卓越性を有する人材」を育成し、大学ブランドの強化及び競技力の向上を図る。
もって、我が国の地域・経済・社会の更なる発展に貢献する。

※「卓越性を有する人材」: 知・徳・体(生きる力)を備えた身体面・精神面・学業面で優れた人材

UNIVAS の役割

・会員である大学及び学生競技団体を「大学スポーツ総体」として横断型に取りまとめることによって、認知の拡大と社会との接点拡大を図り、大学スポーツへの社会支援を促進して大学スポーツの振興と価値向上を目指すとともに、大学や学生競技団体が進める大学スポーツ振興活動の支援を行う。

加盟会員

■大学数

	大学数	構成比
国立	22	9.8%
公立	5	2.2%
私立	179	79.6%
短大	19	8.4%
合計	225	100.0%

■競技団体数

競技形態		団体数
球技	BB型	2
	G型	8
	N型	5
武道・格闘技		10
水上競技		5
射的系		2
その他		7
合計		39

パートナー企業



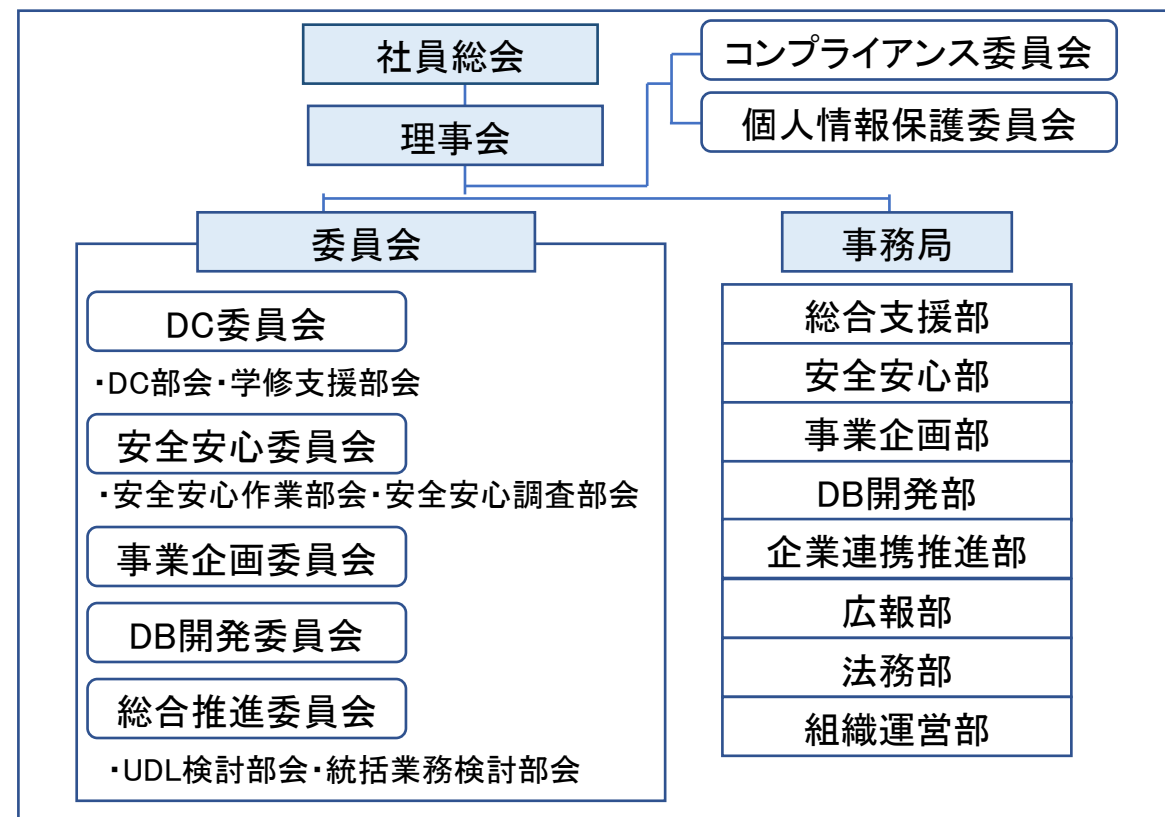
河合塾グループ
株式会社 KEIアドバンス



NHKエデュケーショナル



組織体制



活動
主旨

・設立理念に掲げる「卓越性を有する人材育成」を目標に、スポーツ活動を通じて学生の成長を支援する活動、学生が安心して安全にスポーツに邁進できる環境の確立活動、さまざまな観点で大学スポーツの認知を拡大して社会との接点を充実させる活動、そして学生や運動部を支える大学・競技団体の組織ガバナンスを支援する活動を協会設立来、継続して取り組んできています。

UNIVAS会員
225大学
39競技団体
(2025年3月末時点)

UNIVAS
活動概要

スポーツによる
人材育成

安全安心な
スポーツ
環境確立

大学スポーツ
認知の拡大

組織体制
の整備

入学前・初年次学修支援

人間力育成セミナー

学修支援めやす

インテグリティ向上ツール

安全安心認証制度

安全安心セミナー

安全対策助成制度

UNIVAS相談窓口

ドーピング教育

外傷予防研究

インカレ大会の総合化

試合動画配信

年間表彰制度

学生広報チーム

フォトギャラリー

統括部局設置推進

コンプライアンス研修会

管理者研修会

システム提供

モデル形成事業

4. インテグリティ向上・大学体制整備支援 ～スポーツ統括部局の設置

活動 主旨

・大学設置基準において運動部を含む課外活動は「厚生補導」と位置付けられており、厚生補導を推進する組織体の設置は規定されているものの、運動部は範疇の一部に過ぎず、運動部への関与の濃淡は大学の意思に委ねられている状態である。従って、教育や大学運営にとっての「スポーツの価値」の理解を進め、大学が積極的に関与する体制の実現を推進してきている。

UNIVAS会員大学
における部局設置数
84大学
(2025年3月末時点)

1. 部局設置とSA配置のモデル事業の推進

➤スポーツ庁「SA配置事業」(2018-2021年)にてモデル事業を25大学44事例展開。
スポーツ統括部局の設置とSAの配置に関する助成をスポーツ庁が実施。

2. 大学代表者(理事長・学長)懇談会の定例開催

➤スポーツに対する大学幹部層の理解促進に向け、UNIVAS会長以下とのダイレクトコミュニケーションを定例で開催。(2019-2024年定例開催:通算6回開催・参加者407人)

3. 統括業務ガイダンスの提供

➤大学が求められるスポーツ統括業務に関しての、内容・事例を編集してガイダンスとして提供。
「大学スポーツ統括業務手引書」(2019年)・「大学スポーツへの関与・支援体制手引書事例集」(2023年)

4. 大学部局担当者研修会の開催

➤大学におけるスポーツ管理担当者の業務知識向上と事例共有の場として初年度より継続して毎年開催。
(2019-2024年・通算16回開催・参加540名)

5. 優秀事例の表彰と広報

➤大学スポーツ統括部局の設置と優れた活動に対して、UNIVASAWARDS「大学スポーツ組織運営コース」にて表彰。最優秀には「スポーツ庁長官賞」を授与。(2019-2024年・表彰通算51件)

■大学スポーツ統括に求められる業務

ガバナンス体制構築

組織体制・指導者
安全確保・会計等

学修支援

入学前動機づけ
キャリア支援
学業支援

大学 スポーツ 統括業務

事故予防体制
保険加入推奨等

社会企業連携
ブランディング等

安全安心環境整備

マーケティング

■UNIVAS発行ガイダンス



4. インテグリティ向上・大学体制整備支援 ～安全体制の認証評価

活動 主旨

・UNIVAS設立の2019年に安全安心なスポーツ環境の実現に向けた競技横断型のガイドラインを発刊し、研修・セミナーにより大学・競技団体の安全安心に対する意識醸成を推進した。2020年にはガイドライン規定の重要13項目の実施状況を評価し、認証を発行する「UNIVAS SSC制度」を発足、大学・競技団体が自らの組織における安全体制構築を自主的に取り組むことを促進している。

UNIVAS SSC
認証発行数
36大学22競技団体
(2025年5月末時点)

■ UNIVAS安全安心ガイドラインと規定内容



■ UNIVAS SSC 13評価項目

必須5項目

リスクの洗い出し・運動部リスク管理責任者の配置

事故発生時の報告

施設等の改善要望対応

保険加入の推奨

- 1 運動部を取り巻くリスク全般を洗い出しているか？
- 2 運動部リスク管理責任者を明確にしているか？
- 3 運動部活動中に発生した事故を報告する仕組みがあるか？
- 4 運動施設等に関する改善要望に対応する仕組みがあるか？
- 5 保険加入状況を把握し、加入を推奨しているか？

一般8項目

事故発生時対応に関する文書の作成

安全管理に関する研修の実施

定期的な事故情報の共有

事故対応の責任体制

事故の原因究明・再発防止

ハラスメント防止に向けた取り組み

- 6 運動部の事故発生時の対応を記した文書を作成し、学生が閲覧可能としているか？
- 7 指導者に対し安全管理意識向上のための研修を実施しているか？
- 8 運動部学生に対し、安全管理意識向上のための研修を実施しているか？
- 9 運動部と関係部署に安全管理や事故情報が共有されているか？
- 10 活動中に発生した事故に対応する責任者と担当者を明確にしているか？
- 11 事故の原因究明と再発防止策を検討する仕組みがあるか？
- 12 運動部学生と指導者に対して、ハラスメント防止に関する研修を実施しているか？
- 13 ハラスメントに関する相談窓口を設置し、運動部学生に周知しているか？

■ UNIVAS SSC付帯補償制度

体制整備 プログラム

安全・安心の体制整備

不祥事があった際のブランドイメージ回復費用（記者会見の実施や第三者委員会の調査に要した費用等）のバックアップ



上限: 1会員1事故300万円

賠償プログラム

重篤事故に対する迅速な救済・補償

指導者が大学スポーツにおける業務中に、第三者の身体に障害を負わせた場合に被る損害賠償責任に対してのバックアップ



上限: 1名1億円、1事故3億円

活動
主旨

・スポーツ活動におけるコンプライアンス意識の徹底、学修支援とスポーツ活動を活かした学生の成長支援を目的に、各種研修・セミナー・学修支援教材の提供を継続して進めてきています。オンラインセミナーにて、広く参加者に提供するのみならず、コロナ禍明けからは大学・競技団体の現場に出張して研修会を開催することを精力的に進め、インテグリティ向上に向けた会員活動を支援しています。

研修セミナー受講者数
2024年度
合計36,529人

1. コンプライアンス意識醸成に向けた支援プログラム.

- (1) オンラインセミナーの定例開催(未加盟大学にも開放)
 - (2) 会員主催研修会の開催支援
- ・毎回テーマを変え、弁護士等のコンプライアンス専門家が事例を交えて知見の共有を行っています。

① 全対象オンラインセミナー

月日	主な内容
5月1日	コンプライアンスとは
6月24日	ハラスメント(基礎編)
7月22日	ハラスメント(事案編)
10月28日	SNS(基礎編)
11月25日	SNS(事案編)
2月25日	クリーンスポーツ実現に向けて・闇バイトの罠



	参加者数
2024年度	6,851
累計	11,686



・会員団体主催研修会コンプライアンスの専門家講師を派遣して開催支援しています。(全国対応)

	回数	参加者数
大学	32	5,381
競技団体	6	2,841
2024年度合計	38	8,222
累計	56	10,438

(3) 学生対象学べるショート動画の提供

・1話5分間×5話のショート動画を提供。

大学スポーツにかかわる全ての学生に知って欲しい
コンプライアンスの話。

1話5分で視聴できます

- 第1話：コンプライアンスとは何かを知る
～大学スポーツにかかわる皆さんが知っておいて欲しいこと～
- 第2話：ハラスメントを知る
～実は気付いていない、これってハラスメント？～
- 第3話：加害者への処分を知る
～「そんなつもりじゃなかった」では遅す
- 第4話：身近に潜む犯罪を知る
～犯罪は自分に関係ない？巧みに近寄る犯
- 第5話：悩んだら相談しよう
～耐えなくてもいい、ただスポーツが好き

確認テスト

1話5週間の確認テストが利用できます

Q1 大学生に関連する主なハラスメントはどれですか？
第2話で扱われたものを全て選択してください

- ☐ セクシャルハラスメント
- ☐ ワクチンハラスメント
- ☐ カスタマーハラスメント
- ☐ パワーハラスメント
- ☐ マタニティハラスメント

Q2 「ハラスメント」を日本語に直訳すると、どのような意味ですか？

- ☐ ハラハラすること
- ☐ 効果のないサプリメント
- ☐ 非難すること
- ☐ 嫌がらせ
- ☐ ルール違反

※利用する管理団体には、確認テスト実施者の結果を提供することも可能です。

② 学生対象オンラインセミナー

月日	主な内容
8月7日	大学生が巻き込まれやすいトラブル(薬物編)
9月2日	大学生の身近な法律問題
12月16日	大学生が巻き込まれやすいトラブル(飲酒編)
2月25日	大学生が巻き込まれやすいトラブル(闇バイト編)

2. 入学前～初年次の学修支援プログラム

➤スポーツ推薦内定学生への事前教育や、新入生オリエンテーションに活用できるオリジナル教材を提供。

(1)学業興味を喚起する導入教材 (2)基礎学力向上教材



	提供数
2024年度	3,801
累計	12,606

3. 学生の人間力向上支援プログラム

➤全国集合型、オンラインに加えて、大学や競技団体現場に出張対面開催を推進。①社会人基礎力研修②リーダーズキャンプ③組織マネジメント研修④コミュニケーション講座

	回数	参加者数
2024年度	163	7,090
累計	546	22,890



アーカイブ動画の公開

➤各研修会・セミナーはアーカイブ公開を行い、見逃し視聴需要に対応。
➤要望に応じて会員主催研修会へアーカイブ動画を提供。



会員主催研修会開催事例の共有

➤UNIVAS オフィシャルサイトに開催事例を掲載

東海大学が主催するコンプライアンス研修会

2024年7月23日(水) 17:55～18:15

各クラブに所属する全学生/指導者1,600名

講師 中山 祥 (UNIVAS法務部長・弁護士)

本研修で気づきや学びがあった 88.9%

2023年7月23日(水) 13:00～17:00

特別強化クラブクラブに所属する指導者25名

講師 安部 純介 (TWH総合法律事務所・弁護士)

本研修で気づきや学びがあった 88.2%

4. インテグリティ向上・大学体制整備支援③ ～トレーニングツールの提供

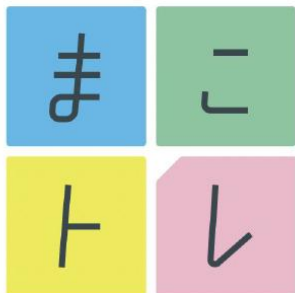
概要

・学生本人が「コンプライアンス」や「インテグリティ」に関心を持ち、いつでもアクセスできるよう身近に情報をおけ、意識醸成のトレーニングもできるアプリをパートナー企業と共同開発して2025年3月末にリリース。追加機能として、運動部管理者が学生の使用状況を把握して個別のフォローを可能とする管理機能のリリースも今後予定しています。

アプリDL目標

20,000DL

(2025年度)



MACOTORE

誠実に生きる

高潔に振る舞う

真摯にトレーニング

supported by

NHKエデュケーショナル



クイズから学ぶ

インテグリティを意識するためのクイズを3か月で12テーマ（ハラスメント、暴力、SNS、ドーピング、差別、規律等）、約40問出題予定。回答頻度によってポイント付与。



記事・コラムから情報をキャッチ

日々のニュースにふれ、潜在的にインテグリティの視点を培うことを目指し、共同通信社の協力を得て最新ニュースを発信。コラムはUNIVAS委員・部会員によるコラムリレーなどを掲載予定。



ランキングでモチベーションキープ

ゲーム感覚でアプリを利用できるよう、クイズに回答したり記事を読むことでポイントを付与。ポイントによってレベルが上がります。学生が持つポイントに応じて、大学・部活ごとのランキングを表示。

適時に研修を受講

映像、音声、文書などで提供されるオンライン研修を受講することが可能。2025年5月には、大学スポーツに取り組むにあたって最低限おさえておいて欲しいポイントをまとめた「大学スポーツ基礎研修（仮称）」を掲載予定。



活動
主旨

・大学スポーツ関係者のインテグリティ向上及びそれを支える大学におけるスポーツガバナンスの確立は一定の成果を示しているものの、まだまだ途上であり、継続的な取り組みが必要である。施策のいち早い浸透に向けて、文部科学省・スポーツ庁の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

大学における
体制整備
の支援

大学幹部層における
スポーツ価値への
認識向上



UNIVAS加盟の促進

- ・大学代表者懇談会・未加盟大学説明会・会長訪問面談の開催
- ・UNIVASサービス体験プログラムの提供

大学における
スポーツガバナンス
の確立



スポーツ統括部局設置の促進

- ・大学スポーツ統括業務手引書の改訂と共通ツールの提供
- ・大学担当者会議の定例開催

大学スポーツ関係者
のインテグリティ向上



研修受講の定着と自走化

- ・オンラインツール利用者の拡大と定着
- ・コンプライアンス意識醸成、コンピテンシー向上セミナーの充実化

大学スポーツ
DXの推進



情報インフラの整備

- ・運動部学生データベース登録の継続推進
- ・My UNIVASを起点としたオンラインサービスの拡充